

# 2020年度事業報告書

法人の名称 **特定非営利活動法人 WE21 ジャパンみなみ**

## 1. 事業の成果

事業基盤である資源のリユース・リサイクルを推進する事業については、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令後、2020年4月・5月、2021年1月・2月と4カ月の臨時休業を行ったため、WEショップみなみの事業高は、3,289,900円（予算比68.5%、前年比55.7%）と大幅な落ち込みとなりましたが、国の持続化給付金や家賃支援給付金などを申請、臨時休業中の家賃やその他固定費の支出をカバーするとともに、民際支援も継続することができました。

営業に際しては、ショップ内の感染防止対策を講じるとともに、営業時間の短縮、フェア・セール等イベントの延期や企画の変更など行いました。使用済みの天ぷら油のリサイクル活動も継続、新たにダウン回収の取り組みを始めました。

アジアの女性・市民の自立支援事業については、インドのNGO・DRCSC：開発調査コミュニケーションセンターの「気候正義に関するDRCSCの既存プロジェクトの追加活動」、パレスチナ「ガザ地区子どもの栄養改善事業」、イラクの「小児がんの子どもたちの医療支援」の募金活動など、継続して支援を行うとともに、新たに、パキスタンの「青少年の地域平和活動」や地域の「子どもたちの居場所づくり」の支援を行いました。また、もう一つの海外支援として、フェアトレード品の販売も実施しました。国内支援では、震災復興「11日サポートデー」の取り組みや3月の震災復興サポート週間を実施、震災支援を継続しました。

地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業については、新型コロナウイルス感染防止のため、民際支援に関するWE講座の開催は見送りましたが、10月に貧困なくそうキャンペーンを実施、WEショップみなみ店頭において、支援先の事業に関する掲示を行いました。

WE講座やボランティアミーティングが開催できず、直接集まることができない、会うことができないもどかしさを感じた1年でしたが、ボランティア緊急連絡のLINEグループ通話の導入や運営委員会等会議のオンライン化など、新しいことにチャレンジした1年でもありました。

## 2. 事業内容

### 1) 特定非営利活動に係る事業

#### (1) 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

内 容：チャリティショップ「WEショップ・みなみ井土ヶ谷店」の運営

日 時：通年（年間営業日数158日）

営業時間 平日 10：30～16：30

場 所：横浜市南区

従事者人員：運営スタッフ6人 運営委員2名 ボランティア25人

対 象 者：地域住民

支 出 額：2,765,311円

#### (2) アジアの女性・市民の生活向上と自立のための活動を支援する事業

内 容：

① アジア地域において、女性・市民の生活向上と自立のための活動をしている団体への助成や寄付をしました。

・インドのNGO・DRCSC：開発調査コミュニケーションセンター

気候正義に関するDRCSCの既存プロジェクトの追加活動：220,000円

日 時：3月

- ・認定NPO法人日本国際ボランティアセンター（JVC）  
パレスチナ・ガザ地区子どもの栄養改善事業：90,000円  
日 時：3月
  - ・一般社団法人平和村ユナイテッド  
パキスタンにおける青少年の地域平和活動とアフガニスタンとの連携：50,000円  
日 時：3月
  - ・認定NPO法人日本国際ボランティアセンター（JVC）  
アフガニスタン地域教育/識字アクション：30,000円  
日 時：3月
  - ・コーディネエラ・グリーンネットワーク  
新型コロナウイルス感染緊急支援：20,000円  
日 時：9月
- ②東日本大震災復興支援のための募金活動をするとともに、毎月「11日サポートデー」を継続して取り組み、その日のリサイクル品の売り上げを寄付しました。
- ・認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね  
「放射能測定、クリニック、甲状腺検診、こころのケア、転地保養」支援：133,000円  
日 時：10月、3月
- ③国内の貧困問題について啓発活動を行い、募金活動を行うとともに、ショップ収益から以下の団体に寄付をしました。
- ・アートラボ・オーバ  
外国籍の子どもたちや近隣の子どもたちの居場所づくりを通じた生活支援：55,000円  
日 時：11月
- ④九州豪雨被災者支援のため、募金活動や緊急支援を行いました。
- ・認定NPO法人カタリバ  
熊本豪雨子ども緊急サポート：40,000円  
日 時：8月
  - ・公益社団法人SL災害救援ボランティアネットワーク  
熊本豪雨災害復興支援：32,900円  
日 時：10月
- ⑤アジア地域における女性・市民の生活向上と自立のため、募金活動を行い、以下の団体に寄付しました。
- ・JIM-NET(日本イラク医療支援ネットワーク) チョコ募金：66,000円  
日 時：12月
  - ・認定NPO法人日本国際ボランティアセンター（JVC）  
アフガニスタン地域教育/識字アクション&ピースアクション：70,571円  
日 時：3月
- ①～⑤
- 日 時：内容の欄に各々記載  
場 所：横浜市南区  
従事者人員：運営委員7人、運営スタッフ1人、ボランティア30人  
対 象 者：アジア地域の女性市民、東日本大震災地域の市民、  
九州豪雨被災地域（熊本県）の市民  
支出額：内容の欄に各々記載
- ⑥アジア地域における女性・市民の生活向上と自立のため、及び東日本大震災復興支援のため、フェアトレード品や復興支援グッズの販売をしました。

日 時：通年  
場 所：横浜市南区  
従事者人員：運営スタッフ 6 人、運営委員 2 人、ボランティア 30 人  
対 象 者：アジア地域の女性市民、東日本大震災地域の市民  
支出額：255,923 円  
支出額合計：1,081,422 円

### (3) 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業

内 容：

① 「エコぞうり講座」の開催

古布でぞうりなどをつくることを学びながら、WEショップの使命である環境問題や海外支援への理解を深めました。

② 「貧困なくそうキャンペーン」の開催

国内の子どもの貧困の実情を紹介するとともに、新型コロナウイルス感染によって困難を極めている近隣の団体の活動の様子を写真で紹介しました。

日 時：

① 「エコぞうり講座」の開催

7月18日、9月19日

② 「貧困なくそうキャンペーン」

10月1日～16日

従事者人員：運営委員 7 人 運営スタッフ 1 人 会員 7 名

対 象 者：WE21 ジャパンみなみの会員、ショップボランティアおよび地域の人たち

支 出 額：11,451 円

### (4) この法人の事業の広報普及を図る事業

内 容：

① WE21 ジャパンみなみのリユース・リサイクル事業及び民際支援事業を紹介するため、「WEショップみなみ通信」を発行しました。また、提携するWE21 ジャパンの情報紙を合わせて配布しました。

日 時：7月、3月

場 所：横浜市南区

従事者人員：運営委員 7 人

対 象 者：WE21 ジャパンみなみの会員、ショップボランティアおよび地域の人たち

支 出 額：13,370 円

② 活動紹介に使用する三つ折りパンフレットを作成しました。

日 時：12月

場 所：横浜市南区

従事者人員：運営委員 3 人

対 象 者：WE21 ジャパンみなみの会員、ショップボランティアおよび地域の人たち

支 出 額：2,430 円

支出額合計：19,828 円

以上